
「テレワーク・デイズ 2019」&「スムーズBiz」に参画 ～柔軟な働き方により、延べ 23,000 人が実施予定～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員 最高執行責任者:谷原 徹、以下 SCSK)は、「テレワーク・デイズ 2019」および「スムーズBiz」に参画することをお知らせします。「テレワーク・デイズ」には 2017 年度から特別協力団体として継続して参画しており、今回は 3 回目となります。

SCSKでは、「リモートワーク(テレワーク)」「時差出退勤」「年次有給休暇取得」いずれかの実施を全社で推奨し、特に東京地区においては、来年の東京 2020 オリンピック・パラリンピックを見据え、混雑が想定される時間帯の通勤を回避する対応を試験的に実施します。本日現在、3,800 名の役職員が参加し、SCSKの実施期間全体で延べ 23,000 人、テレワークは延べ 8,000 人が実施する予定です。

1. 「テレワーク・デイズ」および「スムーズBiz」について

「テレワーク・デイズ」は、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、内閣官房、内閣府が、東京都および関係団体と連携し、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とした働き方改革を推進する国民運動プロジェクトです。2019 年は、7 月 22 日(月)～9 月 6 日(金)の約 1 カ月間を「テレワーク・デイズ 2019」実施期間と設定し、テレワークの一斉実施を呼びかけています。

「スムーズBiz」は、東京都が主催する取り組みで、東京 2020 オリンピック・パラリンピック期間中の交通混雑緩和も見据え、交通量の抑制や分散に向けた交通需要マネジメント(TDM)やテレワーク、時差 Bizなどを一体的に推進するものです。2019 年は、7 月 22 日(月)～9 月 6 日(金)を「スムーズBiz推進期間」として取り組みを呼びかけています。

2. SCSKにおける「テレワーク・デイズ」および「スムーズBiz」の実施内容

SCSKは、「7 月 22 日～8 月 2 日」を実施期間と定め、原則 4 日以上、「リモートワーク(テレワーク)」「時差出退勤」「年次有給休暇取得」いずれかの実施を全社で推奨します。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催期間中において、円滑な大会輸送に向けたオフピーク施策へ協力するとともに、SCSKの事業・社員への影響を最大限軽減することを目的として、主に東京地区においては、混雑時間を回避する出退勤措置を部署単位で検討し、今回の実施期間にあわせて試験的に実施します。

今回参加するテレワーク・デイズの結果も踏まえ、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの対応について、全社横断的に発足したプロジェクトを中心に、具体的な取り組みや運用を策定していきます。

- (1)対象 : 全役職員 7,719 名(2019 年 7 月 1 日現在)
- (2)実施期間 : 7 月 22 日(月)~8 月 2 日(金)
- (3)実施施策 : ①原則 4 日以上、「リモートワーク(テレワーク)」「時差出退勤」「年次有給休暇取得」
いずれかを実施 (1 日において組み合わせて実施可)
- ②主に東京地区において、混雑時間を回避する出退勤措置を部署単位で検討し
試験的に実施
- (4)実施人数 : 全役職員の 50%にあたる 3,800 名が参加
実施期間全体で延べ 23,000 人、「リモートワーク(テレワーク)」は延べ 8,000 人が実施

本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

広報部 牧野

TEL:03-5166-1150